
～ アルコールを検知するとエンジンがかからないクルマ ～
**東海電子社製アルコールインターロック（ALC-ZERO I・ALC-ZERO II）が
全日本トラック協会の助成制度対象機器となりました。**

2013年4月30日

東海電子株式会社(本社:静岡県富士市 代表:杉本 一成)は、この度、アルコール検知するとエンジンがかからないシステム*ALC-ZERO I・ALC-ZERO II (アルコールインターロック)が全日本トラック協会、平成25年度安全装置等導入促進助成事業、呼気吹込み式アルコールインターロックにおいて助成対象機器となりましたことをお知らせ致します。

国土交通省では、飲酒運転による交通事故件数を削減する観点から、飲酒運転を防止する装置(アルコールインターロック装置)の実用化に向けた取り組みを進めており、**

全日本トラック協会でも、事業用トラックの交通事故ゼロを目指すために、飲酒運転を防止するアルコールインターロック装置を助成の対象として普及を図っています。

飲酒運転による違反・事故は、近年減少傾向にあるものの、減少カーブは鈍化してきており、平成24年中では32,140件の飲酒運転違反、4,603件の飲酒事故、死亡事故にいたっては、256件発生しているなど、いまなお深刻な状況です。

出展:警視庁 HP>統計>安全・快適な交通の確保に関する統計等 <http://www.npa.go.jp/toukei/index.htm#koutsuu>

事業用自動車では、2011年5月から点呼の際のアルコール検知器の使用が義務化されましたが、施行後から2013年2月までに、プロドライバーによる41件もの酒気帯び事故や違反が発覚しました。事例としては、出発後の飲酒の例が目立ち、内容を見ると、とても二日酔い(残酒)とは思えない数値で検挙されている例もあり、アルコールインターロック装置での飲酒状況の管理・防止対策が有効な手段であると当社は考えています。



*アルコールインターロック装置

運転者の呼気から飲酒状態を判断して、飲酒状態にある場合にはエンジンを始動しないようにする装置

**国土交通省:呼気吹込み式アルコールインターロック装置の技術指針 <http://www.mlit.go.jp/common/000207297.pdf>

助成に関する詳細につきましては、所属のトラック協会までお問い合わせください。

★★製品に関するお問い合わせ先★★

東海電子株式会社 事務局 笹山

静岡県富士市厚原 247-15 Tel:0545-67-8989 Fax 0545-67-8900

E-mail: jimukyoku@tokai-denshi.co.jp URL : www.tokai-denshi.co.jp
